

第 13 号

発行 JA吉田総合病院

広島県安芸高田市吉田町吉田3666
TEL (0826) 42-0636
FAX (0826) 47-0007



吉田総合病院

あおぞら

夏号

青空

■ホームページ <http://www.hirokouren.or.jp/yhindex.htm>



ご挨拶



事務長
向井 有 司

病院経営を取り巻く環境が厳しさを増す中、今年度診療報酬改定はマイナス3・16%という過去に経験のない改定率となっておりこの影響は計り知れないものがあります。これまでの医療経営はある意味、国から保護されてきましたが、この概念からの脱却を余儀なくされています。12、13年前には全国の病院数は1万以上あったことを記憶しています。現在は9千2百病院となっておりませんが、そのうち健全な病院経営を行なっている病院はそれほど多くはありません。

- 厚生労働省の思惑は確実に実行されています。生き残るためには、病院の財務内容の向上だけではなく、いかに患者満足度を向上させて継続的支持を得るか、すなわち患者様を選ばれる病院になるかといったことや、そのためには病院の医療技術やサービス提供など、業務プロセスの改善による質の高いサービス提供をいかに行うかといったことも重要な課題です。またその前提となる職員のスキルやモチベーション、研修プログラムなどの人材育成の視点を重視した施策も検討する必要があります。医療の質・コスト・業務プロセスなどのバランスを取りつつ、利益の確保と病院の使命の実現に向け、これらの課題を解決していきたいと思っております。
- さて今年度の取組については以下のものを中心に進めたいと思っております。
- ①療養病棟利用の効果的なシステム作り
 - ②老人保健施設の効率的な活用
 - ③介護予防通所リハビリテーションの実施
 - ④医療安全管理体制の充実
 - ⑤新しい健診メニューの導入等

最後に市民の方々や近隣地域の方々に安全で良質な保健・医療・福祉サービスが継続して提供できる地域一番病院にしていきたいと思っております。今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。



じめじめした梅雨の後は暑い夏がやって来ますが、食中毒と言えば皆さんは大量に食事を作っている病院とか学校・会社の食堂・飲食店で起きるものだと思われていませんか？厚生労働省が把握しているだけでなんと食中毒の2～3割りは家庭で発生していると言われています。「昨日までは元気だったのに今日はお腹の調子が悪い」と言う会話を聞く事がありますがもしかして「これが食中毒かも？」しれません。

食中毒には

- 細菌性食中毒
 - 有害化学物質による食中毒
 - 自然毒による食中毒があります。
- 今回は細菌性の食中毒の中で夏場特に注意したい5つの細菌を紹介します。

①サルモネラ菌

よく聞かれる菌だと思えますが食肉を切った包丁やまな板から感染しやすく鶏卵の殻につく事も多く、最近では卵の内部が汚染されたものもまれにあります。

- 潜伏期間：6～24時間 (平均18時間)

● 症状：発熱・全身倦怠・頭痛・食欲不振・下痢など

● 注意点：食肉の生食は避け低温管理や調理器具などの二次汚染を防ぎ十分な加熱を行います。

②腸炎ヒブリオ

この時期一番多い食中毒菌です。海水中に生息し水又は、魚介類を介し人に感染します。増殖が速く30℃以上だと約2倍に増えます。

- 潜伏期間：6～18時間 (平均12時間)

● 症状：激しい腹痛・下痢・嘔吐・発熱

③病原性大腸菌

大腸菌は人や家畜の腸にいますが、その大腸菌の中で腸炎や下痢を起こす菌をいいます。魚介、肉、野菜その加工品などにつきます。

- 潜伏期間：10～30時間 (平均12時間)

● 症状：下痢(出血性の下痢)・腹痛・頭痛・発熱

● 注意点：この菌は熱に弱いので十分な加熱をしましょう。(75℃1分以上)

又、井戸水等を介しての集団発生もみられますので、飲用水の殺菌や定期的な水質検査などを行います。

④黄色ブドウ球菌

この菌は化膿の病原菌で手指の傷や健康な人の鼻の粘膜にもいる菌です。増殖の時エンテロトキシンという毒素によって食中毒をおこします。菌自体は加熱で死ん

でも毒素は食品中に生き残ります。

- 潜伏期間：30分～6時間 (平均3時間)

● 症状：頭痛・下痢・吐き気・腹痛

● 注意点：おにぎり、弁当などの食中毒に多く、おにぎりを作る時はラップを使っておすんだり焼きおにぎりにしたり、弁当も冷ましてから蓋をするよう工夫しましょう。

⑤ボツリヌス菌

もともとは口の中にいる菌で毒素がなくても増え、食品中で毒素を生産します。

- 潜伏期間：12～36時間

● 症状：視力低下・口渇・腹部膨満感・四肢運動麻痺・呼吸麻痺

● 注意点：新鮮な原材料の選択や洗浄・喫食前の加熱(85℃15分以上)などを行うて下さい。

食中毒予防の三原則!!

- 清潔
- 加熱・冷却
- 迅速

家庭での食中毒を防ぐためのポイント



- 手を洗う。(当たり前のことですが清潔を保つためには肝心なこと)
 - 鮮度の良いものを選ぶ
 - 買ったものは家にすぐ持ち帰り、すぐに冷蔵・冷凍すること。
 - 冷蔵・冷凍庫には詰め過ぎない。(詰め過ぎは庫内温度をあげてしまいます)
 - 調理に使う器具はまめに洗います。(二次感染を防ぐ大切なポイントです)
 - 作りおきはあまりせず、食べる分だけ作るようにしましょう。
 - 食べる前に、においが臭かったり見た目が変色したり、ねばねばしているようでしたら要注意です。口には入れず捨てましょう。
- 一年間の食中毒事件数の約50%は7月～9月の3カ月間で起きています。
- バランスのよい食生活で細菌に負けない健康な身体を作ると共に、今一度、家庭の食事作りをチェックし食中毒にかからないようにしましょう。
- (栄養科)

中央処置室だより



患者様からは「吸血鬼」といわれて、愛し、親しまれているところ、それが中央処置室です。吉田総合病院の外来患者様700名(1日平均)のうちの3分の1以上、250名の方が毎日訪れる超人気スポット?でもありません。このメニューである、採血(約100名)や点滴・注射(約90名)、CT・MRI・血管造影の介助等を、しっかりと藤井とおつちよこちよいの竹本、2人の看護師で切り盛りしています。

私たちのモットーは「患者様に不快感を与えず、疼痛を最小限にしたい」とです。また、少しでも心をなごませるように受付には花や季節の物をたやさないようにしています。

患者様から「ありがとございました。上手ですね。」「痛くなかったですよ。また、これからもお願いします。」「といわれると、どんなに忙しくても自然と笑顔がこぼれ、ガンバローという気持ちになります。これからも、いつも笑顔で患者様とコミュニケーションをとりながらがんばりたいと思います。」



新! 糖尿病教室スタート

今年8月より新しい糖尿病教室がスタートします。どんな糖尿病教室か?それは糖尿病治療に関わるスタッフによる教室です。糖尿病治療は食事、運動、薬物の3つの治療法に加え、日々の自己管理が必要となります。これらの治療法は独立したのではなく、互いに深く関係していることから、治療に関わる専門の医療スタッフも連携をとりながら糖尿病の患者様を支えることが重要と考え、糖尿病療養チームによる教室をスタートすることとなりました。

「糖尿病はどんな病気なの?」「放置しておくとうつくなるの?」「糖尿病の食事はどうすればいいの?」など正しく糖尿病を理解し、楽しい有益な人生を過ごすためのお手伝いが出来ればと思います。

■時間：14：00～16：00

■場所：南館2階 健康管理センター運動栄養指導室

1日目	2日目
糖尿病って知ってますか? *【医師】	これからの生活習慣を考えてみよう【保健師・看護師】
糖尿病のお薬の話 【薬剤師】	糖尿病の運動療法 【理学療法士】
食品交換表と食事プラン 【管理栄養士】	外食とおやつについて 【管理栄養士】

■参加費

(2日分、付添者は無料)
当院に通院中の方 約800円
(保険により金額が変わります)
その他の方 800円(自費)

■お申し込み・お問い合わせ

当院に通院中の方は主治医へお申し出ください。
その他の方は下記へお問い合わせください。

■平成18年度の年間スケジュール

毎月第1・第2火曜日に実施します。
但し、平成19年1月は第2・第3火曜日になります。

吉田総合病院 地域医療連携室
電話 0826-42-0636(内線3602)

第1回	平成18年8月1日・8日	第5回	平成18年12月5日・12日
第2回	平成18年9月5日・12日	第6回	平成19年1月9日・16日
第3回	平成18年10月3日・10日	第7回	平成19年2月6日・13日
第4回	平成18年11月7日・14日	第8回	平成19年3月6日・13日

当院の基本方針

- ① やさしい心で安全・良質な医療・保健・福祉サービスを提供します。
- ② 医療を受ける人びとの人格、権利を尊重し、全ての人に貢献します。
- ③ 生涯学習の精神を保ち、知識と技術の習得に努めるとともに、医療の質向上に尽くします。
- ④ 努力と協調で健全経営に努め、明るい職場をつくりまします。
- ⑤ 病院の公共性を重んじ、事業を通じて地域に尽くすとともに、法規範を遵守します。

当院の基本理念

- ① 私たちは何人にも平等に医療を提供します。
- ② 私たちは地域の基幹病院として、最良の医療を提供します。
- ③ 私たちは納得と同意のもとに信頼される医療を提供します。

吉田総合病院

診療案内

受付時間 月曜～金曜 8:30～11:30
2006年4月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	1 診	三好美和	三好美和	三好美和	拓植雅貴	山科敬太郎
	2 診	鼻岡新治	濱田雅典	川本雅英	鼻岡新治	川本雅英
	3 診	益田武	江木康夫	江木康夫	原田和歌子	濱田雅典
	4 診		原田和歌子	佐藤友紀	佐藤友紀	益田武
	新患外来	濱田雅典	鼻岡新治	原田和歌子	川本雅英	江木康夫
	腹部工コ一	原田和歌子	益田・佐藤	濱田雅典	江木康夫	鼻岡新治
	胃内視鏡	川本雅英	川本雅英	鼻岡新治	濱田雅典	原田和歌子
	心工コ一	江木康夫	益田・佐藤	益田武	益田武	佐藤友紀
* 小児科	診 察	一般外来(1診:守屋 真・2診:安村純子)				
	※午後外来受付	慢性疾患外来(火) 14:00～15:30 乳児検診 (水) 14:00～15:00		予防接種<BCG以外>(月・金) 14:00～15:30 予防接種<BCG> (水) 15:00～15:30		
外科	1 診	住元一夫	繁田直史	児玉真也	大森一郎	住元一夫
	2 診	大森一郎	児玉真也	大森一郎	繁田直史	繁田直史
	3 診	田澤宏文	寺岡義布史	田澤宏文	田澤・寺岡	児玉真也
	4 診					寺岡義布史
外脳神経科	診 察	沖田進司	沖田進司	沖田進司	沖田進司	沖田進司
	※神経内科	第2・第4月曜日:伊藤 聖				
整形外科	1 診	竹本正瑞	定地茂雄	竹本正瑞	角西 寛	竹本正瑞
	2 診	定地茂雄	角西 寛	角西 寛	橋本貴士	定地茂雄
	3 診	新本卓也	橋本貴士	橋本・新本		新本卓也
眼科	診 察	調枝寛治		青木清香		青木清香
	※午前外来受付	10:30まで				
* 耳鼻科	1 診	佐藤克至	佐藤克至	佐藤克至	佐藤克至	佐藤克至
	2 診	今井崇勝	今井崇勝	今井崇勝	今井崇勝	今井崇勝
	午後	一般外来	手術	一般外来	検査・手術	手術
		※午前外来受付(火曜日・金曜日)11:00迄			※午後外来受付 14:00～15:30	
* 婦人科	診 察	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久
	※午後外来受付	(水曜日のみ) 13:30～15:30				
* 産科	診 察	田中学	田中学	田中学	田中学	田中学
	※午後外来受付	(金曜日のみ) 14:00～15:30				
精神科	初 診	長岡幾雄	住吉秀律	長岡幾雄	草加耕司	住吉秀律
	再 診	草加耕司	長岡幾雄	住吉秀律	草加耕司	草加耕司
	※再診の方は予約をお取りください。					
* 皮膚科	1 診	仁熊利之	仁熊利之	仁熊利之	仁熊利之	仁熊利之
	2 診	岩本和真				
	午後	一般外来		一般外来	一般外来	
		※午後外来受付14:00～15:30				
麻酔科	ペインクリニック	久保田 稔		久保田 稔		久保田 稔
	術前診察	田村秀樹		田村秀樹		田村秀樹

*印は午後外来診察あり。